

## 第3学年 社会科学習指導案

### 研究主題

よりよい地域にしたいと願う子どもの育成

～自分と地域の人々とのかかわりを捉え、考えを深める指導の工夫～

1 単元名 「働く人とわたしたちの暮らし」

小単元名 「工場働く人の仕事 ～村山大島紬を作る人々～」

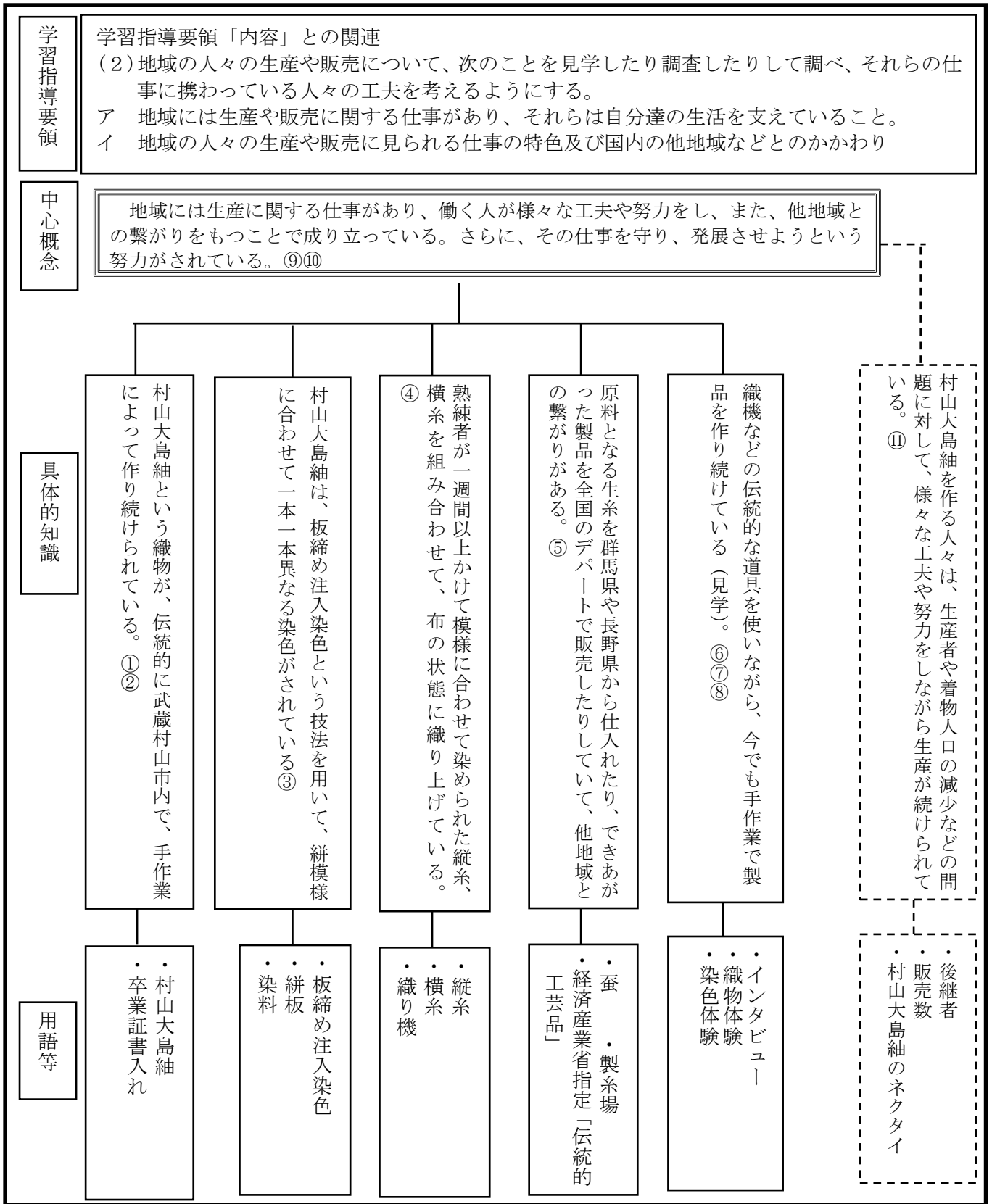
### 2 小単元の目標

地域の生産活動である村山大島紬を作る人々の仕事について関心をもって調べ、工業の仕組みについて理解を深めると共に、人々の様々な工夫や努力があることや、他地域とかかわりがあることに気付く。また、自らの生活とかかわりに気付き、地域への愛着や誇りを深める。

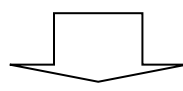
### 3 小単元の評価規準

| 評価の観点           | 評価規準  | 学習課程のどこで    |
|-----------------|---|-------------|
| 社会的事象への関心・意欲・態度 | ①地域の人々の生産の仕事の様子に関心を持ち、意欲的に調べている。<br>②地域の人々の生産の仕事と自分たちの生活とかかわりを考えようとしている。                                    | つかむ<br>ふかめる |
| 社会的な思考・判断・表現    | ①地域の人々の生産の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。<br>②地域の人々の生産の仕事の工夫を自分たちの生活と関連付けて考え適切に表現している。                     | 調べる<br>ふかめる |
| 観察・資料活用の技能      | ①観点に基づいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の生産の仕事の様子について必要な情報を集め、読み取っている。   | 調べる         |
| 社会的事象についての知識・理解 | ①地域には生産に関する仕事があり、それらは自分たちの生活とかかわりがあり、また、そこには様々な工夫や努力があることを理解している。<br>②地域の人々の生産の仕事に見られる特色や他地域などとかかわりを理解している。 | 調べる<br>まとめる |

4 知識の構造図



育てたい子供の姿



販売の仕事にかかわる人々の働きに気づき、地域社会に対する親しみをもとうとする子供

## 5 小单元について

### (1) 单元観

本小单元は、学習指導要領 第3学年の目標(1)、内容(2)ア、イに基づいて設定した。  
学習指導要領 社会科 第3学年の目標(1)

(1)地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。

学習指導要領 社会科 第3学年の内容(2)ア、イ

(2)地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。

ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分達の生活を支えていること。

イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり

本小单元「工場働く人の仕事～村山大島紬を作る人々～」は、单元「まちの人々の仕事」の一つであり、生産に関する仕事について調べることで、働く人々が様々な工夫や努力をしていることで仕事が成り立ち、それによって自分たちの生活も支えられていることを、学ぶことをねらいとしている。また、それと同時に、仕事というものはその場だけで完結しているものではなく、原材料の調達、製品の販売などによって、他地域とのかかわりがあることにも気付かせる。

学習指導要領において、生産に関する仕事は農家や工場の仕事を取り上げることが考えられるとされているが、後述する理由により、今回は工場仕事を取り上げる。さらに、原材料の仕入れ、生産のおよその工程、働く人の服装や仕事の進め方、製品の販売などに見られる仕事の工夫などを取り上げることが考えられるとされている。

前小单元「スーパーマーケットで働く人の仕事」では、販売に関する仕事をする人々の工夫や努力について学習している。これらの学習を基にして、共通項などを意識しながら学習を進めていくことも重要である。

### (2) 児童観

省略

### (3) 教材観

本小单元では、「村山大島紬」を作る人々の仕事を教材として取り扱う。

村山大島紬とは、武蔵村山市周辺で伝統的に生産されている紬で、1967年に東京都無形文化財に指定され、経済産業大臣指定伝統工芸品として、この制度による最初の指定の祭に、東京都で唯一指定を受けた伝統工芸品である。板締め注入染色法などの技法が用いられるなど、独自の手法で作られており、今でも一つ一つ手作業で生産が行われている。

その生産工程は、糸を染色するための緋板(かすりいた)の作成に始まり、出来上がりの模様に合わせて糸一本一本が染色される。それらの糸を織っていくが、糸の配列等を間違えると作品として失敗してしまうなど、非常に細かく難しい作業が行われる。

この村山大島紬は、近年の着物着用減少などから、児童の日常の中で身近さを感じる人が多いとは言えないのが現状である。しかし、武蔵村山市内の小学校で、毎年卒業証書入れに使われていたり、市内のショッピングモールで体験のイベントが行われていたりしている。市内で作られている「距離的な身近さ」を、より「心理的な身近さ」に学習を通して変えていくことも重要である。

この村山大島紬の織物協同組合では、現在18社が加盟しており、作られた製品は全国各地の百貨店などで行われている伝統工芸品展などに出荷されている。また、原料となる生糸は群馬県や長野県から仕入れられている。

この組合に加盟しているほぼ全ての団体が60歳を超える高齢の方が中心となっており、30代の後継者がいる団体も1つしかない。自分達の住む市内で作り続けられてきたものに、これからどう関わり、残していくか、ということも児童には考えさせたい。

3年生の生産に関する学習で取り扱われている工場の多くが「工場制機械工業」である一方で、この村山大島紬の生産は、いわゆる「手工業」であり、「機械が稼働する現代的な工場らしさ」は

見られない。しかし、機械的な工場については5年生の工業の学習で学習をするので、その前段階として、原料を加工し製品にするという原理を学べる良さがある。

また、4年生で学習する文化財や年中行事の学習との兼ね合いもあるが、4年生ではより広い「都道府県」規模での学習も必要となる。そのため、武蔵村山独自の文化であるこの村山大島紬については、3年生で学習をし、その良さについて考えていくことがより適切であると考えた。

## 6 研究主題との関連

### (1) 社会認識を深め、参画意識を培う教材の開発

本小単元では、地域の伝統的な産業である村山大島紬について学習を行う。伝統的な手工業であるため、どのような原材料があり、そこにどのように手を加えることで製品となるのか、ということを実感しやすい。また、製品の細やかさ、伝統的工芸品としての価値の高さを知ること、そのようなものが自分たちの住む地域で作られていることへの誇りを感じ、地域社会への関心を高めることができると考える。

また、生産の仕事としての側面だけでなく、「ふかめる」段階では、後継者問題など、伝統産業として抱えている問題点についても取り扱う。それによって、児童が地域の一員として、この村山大島紬とどのように関わっていくのかを考えさせる。それによって、より一層地域社会への関心を高め、参画意識を培うことができると考える。

### (2) 社会認識を深め、参画意識を培う指導の工夫

#### ①学習意欲を高める指導の工夫

導入の段階で、様々な村山大島紬の製品の実物に触れさせ、関心をもたせる。また、原材料である生糸と完成した製品を比較することで、その過程を想像させ、追究への意欲を高める。

また、調べる場面でも、実際に使われている道具や作業の様子の写真などを用いることで、視覚的な理解を深めるだけでなく、児童の興味・関心を引き出していく。

#### ②見学・体験活動の焦点化

本小単元では、村山織物協同組合の方々に協力していただき、資料館の見学、織物や染め物の体験活動を取り入れる。その際に、どのような視点で見学・体験をすればよいのかを明確にするために、事前学習を重視する。写真や映像などで作業工程を調べ、疑問に思ったこと、追究したいことなど、一人一人が視点をもった上で見学・体験に行けるようにする。

### (3) 社会認識を深め、参画意識を培う評価の工夫

毎時間、振り返りとして疑問や考えをノートに記述する。それによって、児童の思考の変容や認識の深まりを評価し、次時の指導へと活かしていく。そのために、振り返り際には必ず視点を与え、単なる感想だけで終わらないよう指導を行う。

7 小単元の指導計画と評価計画（11時間扱い）

| 過程  | 指導のねらい  | ○主な学習活動<br>・予想される児童の反応   | ◆指導上の留意点 ☆資料<br>◎学習活動に即した具体的な評価規<br>準（評価方法）   |
|-----|---|--|---|
| つかむ | ①自分達の生活する市内には、生産にかかわる仕事があることに気づき、その中でも村山大島紬について興味・関心を高め、学習問題を立てる。 | ○着物や卒業証書入れなどの実物を見て、村山大島紬について感じたことを話し合う。<br>・縫い方が細かくてきれい。<br>・作るのが難しそう。<br>○製品である紬と原材料である生糸を比べ、学習問題を立てる。<br>・だれが作っているのだろうか？<br>・白い糸をどう染めているのか。<br>・どうやって織っているのだろうか？   | ☆村山大島紬で作られた製品（着物、卒業証書入れ）<br>☆生糸<br>◆主に市内のどこで作られているか地図で確認する。<br>◆造形の細かさや美しさに注目させることで、手作業で作っていることを知った際の驚きがより大きくなるようにする。<br>◎ア - ①村山大島紬を作る仕事に関心をもち、進んで疑問をもとしたり、調べようとしたりする。（ノ                         |
|     | ②学習問題の答えを予想し、学習計画を立てる。  | ○製品である紬をより細かく観察する。<br>・一本一本の糸の色が違う。<br>・糸が何十本も並んでいる。<br>・縦と横に糸が編まれている。<br>○資料を基にして、学習問題の答えを予想し、話し合う。<br>・専門の道具を使いこなして作っている。<br>・織る時に特別なくふうをしている。<br>・技術のある職人さんが作っている。<br>○予想を基に、学習計画を立てる。<br>・作っているところを実際に見るのがいい。<br>・作っている人にインタビューをする。                          | ☆村山大島紬の端切れ<br>☆写真（工場の様子、使用している道具）<br>◆見た印象や感想だけでなく、事実としての細かな造形や作り方に気付かせ、それをもとに作る人の思いや願い、苦労を考えさせる。<br>◆前小単元の学習で、働く人が様々な工夫や努力をしていたことを想起させる。<br>◎イ - ①学習問題に対して、資料などを基にしながらか根拠をもって予想を立てている。（ノート、行動観察） |
|     | ③糸の染色方法について調べ、伝統的な技法が使われていることを理解する。                               | ○繭玉の実物を観察し、生糸について理解する。<br>・綿からできていると思っていた。<br>・こんなにたくさんの繭を使うのか。<br>○村山大島紬独自の染色方法について、資料から読み取る。<br>・木に挟んで、色の付いた液をかけて染めていた。<br>・糸を染めるためには木を彫るところから始めている。<br>・一本一本色の付き方が違っている。<br>○分かったことから、見学の際に調べたいこと、聞きたいことを考え発表する。<br>・どうしてこんな大変な染め方をするのか。<br>・綺麗に染めるためのコツはあるか。 | ☆繭玉<br>☆映像資料（染色の様子）<br>◆材料や道具などに専門用語が多く、そのままでは児童が理解できなくなるため、伝わりやすい言葉や名称に注意する。<br>◆糸が一本一本染め方が違うことを理解するために、工作用紙のドットを用いて理解を助ける。<br>◎エ - ①村山大島紬を作る上で、生産者が様々な工夫や努力をしていることを理解している。（ノート）                 |

学習問題 村山大島紬は、だれがどのように作っているのだろうか？

|      |   |   |   |
|------|---|---|---|
| 調べる  | ④糸の織り方について調べ、折り方の技術や道具の使い方など、様々な工夫や難しさがあることに気付く。  | <p>○村山大島紬の織り方について、資料から読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・染めた糸を綺麗に並べている。</li> <li>・織るために様々な道具が使われている。</li> <li>・職人さんでも織り始めてから完成まで1週間以上かかっている。</li> </ul> <p>○分かったことから、見学の際に調べたいこと、聞きたいことを考え発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・織る時に失敗してしまったらどうするのだろう。</li> <li>・どれくらい練習すれば上手に作れるようになるのか。</li> </ul>   | <p>☆映像資料、写真資料（織り機、布を織る様子）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆前時同様、材料や道具などに専門用語が多く、そのままでは児童が理解できなくなるため、伝わりやすい言葉や名称に注意する。</li> <li>◆「なぜわざわざ大変な作り方をしているのか」という疑問をもたせ、「ふかめる」段階へも繋げられるようにする。</li> </ul> <p>◎ウ - ①資料から、制作の様子や特徴を正しく読み取っている。(ノート)</p>  |
| 調べる  | <p>⑤原材料の仕入れや製品の搬出について調べ、他地域とのかかわりによって成り立っていることに気付く。</p> <p>⑥⑦⑧<br/>資料館に見学に行き、実際に作る様子を見たり体験したりしながら、村山大島紬を作る人々が様々な工夫や努力をしていることに気付く。</p> | <p>○原材料となる生糸の作り方を知り、どこから手に入れているのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蚕という虫からできる。</li> <li>・他の県から仕入れている。</li> </ul> <p>○村山大島紬が伝統的工芸品として指定されていることを知り、その出荷先を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本中で売られている。</li> <li>・武蔵村山で作られているものが日本中で扱われていてすごい。</li> </ul> <p>○次時の見学のための視点をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作っていて大変なことは何か。</li> <li>・作れるようになるためにどれくらい修行をしたのか。</li> <li>・道具の使い方を詳しく見てくる。</li> </ul> <p>○資料館で道具や作業工程について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に道具を見ると使うのが難しそう。</li> <li>・布を織るのにも工夫がたくさんある。</li> </ul> <p>○染色や織り機の使い方を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やってみると難しい。</li> <li>・これを上手に使える人たちはたくさん練習をしたのだと思う。</li> </ul> <p>○村山大島紬を作る方々にインタビューをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作る中で特に難しいことは何か。</li> <li>・今まで作り続けてきて嬉しかったことは何か。</li> </ul> | <p>☆日本地図</p> <p>☆「伝統マーク」（伝統的工芸品として認定されたものに付けられる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆都道府県の場合などの知識・理解が未習得であるため、地図と照らし合わせながら全国とのつながりがあることに気付かせる。</li> </ul> <p>◎エ - ②生産の仕事は他地域とのかかわりがあって成り立つことを理解する。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「人々の工夫や努力」「作る難しさと職人の凄さ」に気付けるような内容になるよう事前打ち合わせを行う。</li> <li>◆事前学習で出た疑問を解決できるよう、予め見学の視点を明確にしておく。</li> </ul> <p>◎ウ - ②視点を明確にして見学し、分かったことや必要な情報を適切に記録している。(見学記録、行動観察)</p> |
| まとめる | ⑨⑩見学して分かった事実をまとめ、学習問題を解決する。   | <p>○見学して分かった事実をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糸を染めるために板のデザインからしている。</li> <li>・染めた糸を織るために織り機などの様々な道具を使っている。</li> <li>・作る人たちは様々な工夫や苦勞をしている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆調べた事実をグループ分けし、視覚的に情報を整理するようにする。</li> </ul>  |

|                      |  |   |   |
|----------------------|--|---|---|
|                      |  | <p>○まとめをもとにして、学習問題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村山大島紬は、職人さんがたくさんの工夫や努力をして作っていて、伝統工芸品として日本中で愛されている。</li> <li>・村山大島紬は、今でも手作業で織ったり染めたりして、たくさんの努力をして作られている。</li> </ul> <p>○村山大島紬を作る仕事と自分たちの生活との結び付きを考え発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業証書入れだけでなく、自分でももっと手にしたい。</li> </ul> | <p>◆教室掲示などを振り返りながら、調べた内容を網羅できるような解決を導き出すようにする。</p> <p>◎イ - ②調べた事実をもとに、学習問題を解決している。また、自分たちの生活との結び付きを考えている。(ノート)</p>  |
| <p>ふかめる<br/>(本時)</p> | <p>⑩村山大島紬が抱える課題を知り、これからの村山大島紬に対して関心を持ち、自分のかかわり方を考える。</p> | <p>⑩村山大島紬が抱える課題を知り、自分たちがこれからの生活の中でどのように関わっていくか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかくの村山大島紬がなくなってしまわないようにしたい。</li> <li>・家族にも話をして、色々な人にもっと知ってもらいたい。</li> <li>・色々な場所でやっている体験などにも参加して、もっとくわしく知っていきたい。</li> </ul>   | <p>☆生産者数の推移(グラフ)</p> <p>◆前時まで「生産に関する仕事」としての、工業的分野の学習を確実に習得した上で、地域の産業への意識や思いを深める学習とする。</p> <p>○単純に「自分も働きたい」で終わらないよう、今できること、様々な立場からできることを考えさせる。</p> <p>◎ア - ②これからの村山大島紬について関心を持ち、自分がどのようにかかわっていけるか考えている。(ノート)</p> |

## 8 本時（全11時間中の第11時間目）

### (1) 本時の目標

村山大島紬が抱える課題を知り、これからの村山大島紬に対して関心をもち、自分のかかわり方を考える。

### (2) 本時の展開

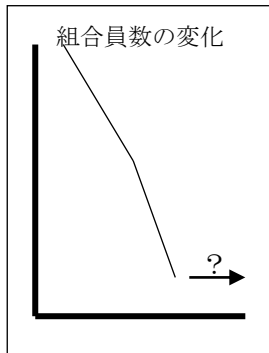
※本時では、ゲストティーチャーとして織物組合の方に来ていただきお話していただく。

| 時間         | ○主な学習活動・予想される児童の反応   | ◆指導上の留意点 ☆資料<br>◎学習活動に即した具体的な評価規準（評価方法）   |
|------------|--|---|
| 導入<br>5分   | ○前時までの学習を振り返る。<br>・たくさんの工夫や努力をしていた。<br>・自分でも村山大島紬を買いたいと思った。  | ◆教室掲示やノートを確認することで、様々な工夫や努力がされていたことや、村山大島紬を作ることの凄さを改めて印象付ける。   |
| 展開<br>30分  | <p style="text-align: center;">これからの村山大島つむぎについて考えよう。</p> <p>○資料を読み取り、今後村山大島紬の生産がどうなっていくか予想して話し合う。<br/>・今まで減ってきているから、これからも減り続けて、なくなってしまうかもしれない。<br/>・着物を着る人が減っているから、さらに減っていきそう。</p> <p>○村山大島紬の生産が減ってきていることについて、自分の考えを発表する。<br/>・こんなに凄いものなのになくなってしまふのは嫌だ。<br/>・もっと皆にも知ってもらえればなくなるのではないのか。</p> <p>○村山大島紬の生産が減ってきていることについて、生産者である織物組合の方々がどのように受け止めているのか考え、ノートに記入する。</p> <p>○織物組合の方の、これからの村山大島紬に対する思いを聞く。</p> | <p>☆組合員数の推移のグラフ</p> <p>◆グラフが過去から現在まで減り続けていることに注目させ、今後もさらに減っていくことを予想させる。また、日常の生活でほとんど着物が切られていないことも気付かせる。</p> <p>◆本単元の学習を始める際には自分たちも名前すら知らなかったことを思い出させ、市民にこの村山大島紬の存在が浸透していないことを想像させる。</p> <p>☆村山大島紬の製品（小物入れ、筆箱）</p> <p>◆織物組合の方とは事前に内容と時間の打ち合わせを入念に行っておく。現在、生産者がどのような思いで作っているか、現在どのような取り組みをしているのかを話していただくと共に、児童の思いを価値付けてもらう。</p> |
| まとめ<br>10分 | ○これからの村山大島紬について、考えたことをノートに書き、発表する。<br>・もっと家族にも話をして、この村山大島紬の事を知ってもらおうようにしたい。<br>・武蔵村山市の自慢だと思ふから、失くさないようにみんなで守っていきたい。<br>・もっと武蔵村山市民にこのことを知ってもらおうためのアピールをしたい。   | <p>◆他人ごとではなく、自分にもできることはないか、という視点をもてるように支援をする。</p> <p>◆児童の感想を聞いて、織物組合の方に価値付けていただく。</p> <p>◎これからの村山大島紬について関心をもち、自分がどのようにかかわっていきけるか考えている。（ア②：ノート）</p>  |



## 9 板書計画

これからの村山大島つむぎについて考えよう



作る人はどう考え、何をしているのだろう？

予想

- ・ついでくれるひとを探している。
- ・これからも残したいと思っている。
- ・もっと売れるようにくふうしている。

組合長さんのお話

- 大切なものだから残していきたい。
- たくさんの方が買ってくれるように、着物以外も作っている。
- 知ってもらうための取り組みもしている。
- むさし村山と言えば村山大島つむぎと言えるようになってほしい。